

平成 20 年 月 日

義肢等完成用部品事業者 様

国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
井上剛伸、山崎伸也、我澤賢之

「補装具の価格等に係る実態調査」の協力について（依頼）

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

さて、今般、補装具の価格等の実態を把握するため、補装具の製造、輸入、販売事業者様に対し、下記の通り調査を実施する運びとなりましたので、ご理解の上、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

○調査の概要

補装具はその利用者にとって欠かすことのできない用具であり、それらの安定的な供給は利用者の自立や社会参加を支える上できわめて重要です。昨今、厳しい財政状況の中で補装具もまた、公費によりその費用の一部がまかなわれている点から、どのようなものがどれだけ供給されているのかといった状況を、税負担者である国民に示していくことが今後ますます重要になってくると考えられます。また、これにあわせて、現在の補装具費支給制度の下での補装具供給事業の経営状況についても把握し、税負担者である国民に対する説明要素の一つとしていくことも、制度を考えていく上で重要なことです。

これらの点を明らかにし、補装具利用者が今後も安心して補装具を利用できるようにしていくために、私どもは補装具の製作・輸入・販売等について、最近の動向を反映し、適切な価格設定の方法について提案することを目的として、標記の調査を計画しております。具体的な調査内容としては、補装具供給（製作・輸入・販売）に携わっている事業者様を対象に、

- ・個別補装具の出荷価格・出荷量について
- ・補装具製作・輸入・販売事業における経営状況（売上・費用）について

伺いたいと考えております。

つきましては、調査にご同意いただけます場合は、お手数ですが、平成 20 年 9 月 16 日（火）（必着）までに本調査表にご回答いただいたものを本紙末の問い合わせ先まで電子メールまたは郵送にてご返送をいただけますようお願いいたします。

なお、本調査へのご回答は任意であり回答しないことにより不利益が生じることはございません。しかしながら、大変お手数をおかけして恐縮ではございますが、研究趣旨をご理解の上、是非ともご協力をお願いいたします。

※本調査は、国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所が平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金（事業名「経済学的手法による補装具の価格構成に関する研究」）を受けて進めております。

○研究成果の発表・還元の方法について

本調査は関係団体を通じて補装具供給（製造・輸入・販売）に携わる事業者を対象に、本調査票により行います。集めさせていただいたデータをもとに分析を加えた上で、価格設定の方法等についての提案をまとめることを予定しております（平成 21 年度末予定）。この研究の結果は、報告書・学会等で報告させていただくほか、厚生労働省補装具評価検討会に対し報告することを考えております。

○データの取り扱いについて

本調査の結果は、連結可能匿名化をしてデータ処理を行います。

- ・ 調査内容集計表でのデータ管理は記号により行い、得られた調査内容と回答者名は切り離して保存します。（従って、集計表上、回答者を特定することは出来ません。）
- ・ 回答者名と記号との対応表は、集計表とは別個に、かつ調査者（井上、山崎、我澤）以外は見ることができないよう管理いたします。

また、研究成果発表の段階で個別事業者の回答内容が第三者に知られることもありません。ご回答いただいた元データは、本研究のみに使用いたします。第三者に提供されることもありません。本研究期間終了後（平成 21 年度末研究費補助期間終了）、ご回答いただいた調査票は廃棄いたします。

○お問い合わせ先

本調査につきましてご質問等ございましたら、下記までよろしくお問い合わせいたします。

国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
厚生労働科研費プロジェクト「経済学的手法による補装具の価格構成に関する研究」研究班

井上剛伸（福祉機器開発部）

山崎伸也（補装具製作部）

我澤賢之（障害福祉研究部）

専用メールアドレス：prj-hosougu@rehab.go.jp

電話：04-2995-3100（代）

※ 調査などのため研究所を不在にしていることもございますので、なるべくメールによるお問い合わせをお願い申し上げます。

以上

義肢・装具・座位保持装置

完成用部品供給にかかわる実態調査

平成20年 月 日

国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所

井上剛伸、山崎伸也、我澤賢之

●本調査の趣旨

義肢・装具・座位保持装置はその利用者にとって欠かすことのできない用具であり、それらの安定的な供給は利用者の自立や社会参加を支える上できわめて重要です。

私どもの研究では、義肢・装具・座位保持装置を必要とする人が、今後も安定的かつ持続的に利用できるようにするため、当該補装具の製作・修理について、最近の動向を反映し、適切な価格設定の方法について提案することを目的としております。

本調査票は、義肢・装具・座位保持装置の製作・修理の費用のなかで大きな比率を占める完成用部品の供給状況について調査するものです。調査は完成用部品（指定済みのものに限る）の供給（製造・輸入・販売）に携わる全事業者を対象に本調査票により行います。集めさせていただいたデータをもとに分析を加えた上で、最終的には価格設定の方法並びに完成用部品の価格の在り方についての提案をまとめることを予定しております。この研究の結果は、報告書・学会等で報告させていただくほか、厚生労働省補装具評価検討会に対し報告することを考えております。

なお、本調査へのご回答は任意であり回答しないことにより不利益が生じることはありませんが、研究趣旨ご理解の上、是非ともご協力をお願いいたします。

※本調査は、国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所が平成20年度厚生労働科学研究費補助金（事業名「経済学的手法による補装具の価格構成に関する研究」）を受けて進めております。

●データの取り扱いについて

本調査の結果は、連結可能匿名化をしてデータ処理を行います。

- ・ 調査内容集計表でのデータ管理は記号により行い、得られた調査内容と回答者名は切り離して保存します。（従って、集計表を見ただけでは、回答者が誰であるかは分かりません。）
- ・ 回答者名と記号との対応表は、集計表とは別個に、かつ調査者（井上、山崎、我澤）以外は見るできないよう管理いたします。

また、研究成果発表の段階で個別事業者の回答内容が第三者に知られることもありません。ご回答いただいた元データは、本研究のみに使用いたします。第三者に提供されることもありません。本研究期間終了後（平成21年度末研究費補助期間終了）、ご回答いただいた調査票は廃棄いたします。

●ご回答の方法について

エクセルにて調査票のフォーマットを作成し、添付しておりますので、エクセルファイルに入力したものを下記連絡先までメールにてご返信いただくと幸いです。

国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
厚生労働科研費プロジェクト「経済学的手法による補装具の価格構成に関する研究」
研究班

井上剛伸(福祉機器開発部)

山崎伸也(補装具製作部)

我澤賢之(障害福祉研究部)

専用メールアドレス: prj-hosougu@rehab.go.jp

電話:04-2995-3100(代)

御社における平成 20 年 5 月末時点で決算の終了した直近の会計期間（1 年間）について、ご記入下さい。

例)

- 3 月末日決算の場合 → 平成 19 年 4 月 1 日～20 年 3 月 31 日まで
- 9 月末日決算の場合 → 平成 18 年 10 月 1 日～19 年 9 月 30 日まで
- 12 月末日決算の場合 → 平成 19 年 1 月 1 日～19 年 12 月 31 日まで

●御社の決算日および上記基準による記入対象期間（1 年間）をご記入下さい。

御社の決算日 月 日
 記入対象期間 平成 年 月 日～平成 年 月 日

上記期間におこなわれた、御社からの完成用部品出荷取引すべてについて、対象に下記の表にご記入下さい。（記入方法については別紙をご参照ください。また、当該製品のカタログを添付してください。）

設問 1 個別完成用部品の出荷量ならびに販売価格、調達コストについてご記入下さい。

○自社製造完成用部品について

部品カテゴリー				(5) 部品型番 (部品個別名)	(6) 義肢製作業 者への販売単価 (円)	(7) 対象期間にお ける出荷数量 (個)	(8) 製造原価 (部品 1 個あた り) (円)
(1) 種 別	(2) 区 分	(3) 名 称	(4) 形 式				
a) 殻構造義肢	区分名（肩義手、 下肢装具）をお書 き下さい。 ※座位保持装置 の場合、空欄にし て下さい。						
b) 骨格構造義肢							
c) 装具							
d) 座位保持装置							
a～d のいずれか 1 つをご記入下さ い							

設問 1 (つづき)

○輸入完成用部品について

部品カテゴリー				(5) 部品型番 (部品個別名)	(6) 義肢製作 業者への 販売単価 (円)	(7) 対象期間 における 出荷数量 (個)	(9) 輸入原価 (部品 1 個あたり)			(10) 外国における実売価格				
(1) 種別 a) 殻構造義肢 b) 骨格構造義肢 c) 装具 d) 座位保持装置 a~dのいずれか 1つをご記入下さい	(2) 区分 (肩義手、下肢装具など)をお書き下さい。 ※座位保持装置の場合、空欄にして下さい。	(3) 名称	(4) 形式				仕入れ価格 (円)	輸入コスト (円)	輸送費用・保険料負担等契約種別 a) FOB b) CIF c) その他 a~cのいずれか 1つをご記入下さい。	米 (米ドル)	英 (ポンド)	仏 (ユーロ)	独 (ユーロ)	その他 (米・英・仏・独のいずれの国においても販売がない場合に限り、この欄に、販売されている国名・価格・通貨名をご記入下さい)

※ (10) 外国における実売価格については、可能な限り米英仏独 4 カ国の実売価格すべてをご記入下さい。

設問2 過去3年間の貴事業所の経常収益（売上げ）についてご記入下さい。

		※平成16年7月～ 17年6月の間に始 まった会計期間 平成()年 ()月 ()日 ～()年 ()月 ()日	※平成17年7月～ 18年6月の間に始 まった会計期間 平成()年 ()月 ()日 ～()年 ()月 ()日	※平成18年7月～ 19年6月の間に始 まった会計期間 平成()年 ()月 ()日 ～()年 ()月 ()日
営業 収 益	完成用部品の販売	円	円	円
	補装具の製作・修理事業	円	円	円
	完成用部品以外の補装具関連部品・材料の販売	円	円	円
	福祉用具の販売(上記以外)	円	円	円
	その他事業 (業種名:)	円	円	円
営業外収益		円	円	円
経常収益		円	円	円

設問3 過去3年間の貴事業所の経常費用についてご記入下さい。

		※平成16年7月～ 17年6月の間に始 まった会計期間 平成()年 ()月 ()日 ～()年 ()月 ()日	※平成17年7月～ 18年6月の間に始 まった会計期間 平成()年 ()月 ()日 ～()年 ()月 ()日	※平成18年7月～ 19年6月の間に始 まった会計期間 平成()年 ()月 ()日 ～()年 ()月 ()日
1. 完成用部品の供給にかかわるもの ※他業種との切り分けができない場合、該当欄に「－」とご記入し、下の「2. 完成用部品以外の主要事業での費用」の項の記入欄にあわせて金額をご記入下さい。				
製造完成用部品の製造原価		円	円	円
輸入完成用部品の輸入原価		円	円	円
販売費		円	円	円
一般管理費		円	円	円
2. 完成用部品以外の主要事業での費用				
製造原価		円	円	円
販売費		円	円	円
一般管理費		円	円	円
※ここまで営業費用対象費目				
営業外費用		円	円	円
経常費用 ※上記費用金額の合計と一致することをご確認ください		円	円	円

設問 4 完成用部品供給事業の現状についてご意見等がございましたら、お書き下さい。

--

※ 回答者様について

ご回答いただいた内容について、質問させていただくことがあります。その際のご連絡先をご記入下さい。

回答事業者様社名	
回答担当者様氏名	
回答者様ご連絡先 (電話及び E-mail アドレス)	

長時間にわたるご回答にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

【記入上の注意事項】

設問1

(1) 部品種別について

当該製品の部品種別について、以下から記号を選択して記載してください。

- a) 殻構造義肢
- b) 骨格構造義肢
- c) 装具
- d) 座位保持装置

※ エクセルのシートでは、選択式になっていますので、a)~d)までを選択してください。

(2) 区分について

補装具完成用部品一覧表の「区分」欄に相当する語句をご記入下さい。

※座位保持装置用完成部品の場合には、空欄にして下さい。

(3) 名称について

補装具完成用部品一覧表の「名称」欄に相当する語句をご記入下さい。

(4) 形式について

補装具完成用部品一覧表の「形式」欄に相当する語句をご記入下さい。

(5) 部品型番について

当該製品の型番を記載してください。

(6) 義肢製作者への販売単価について

当該製品の基準額や希望小売価格ではなく、義肢等製作者への販売価格（出荷時の実際の単価）を記載してください。なお、時により出荷時単価が異なる場合は、加重平均による平均単価を記載いただくか、記載を2行以上に分けて単価設定ごとにご回答ください。

(7) 対象期間における出荷数量について

当該製品の対象期間における出荷個数を記載してください。

(8) 製造原価について

当該製品の製造原価（単価）を記載してください。

(9) 輸入原価について

当該製品の輸入原価（仕入れ値、輸入に係るコストを分けて）を記載してください。
あわせて、輸入コストに関わる契約形式についてご回答下さい。

- a) FOB：輸出国出国港から先の輸送費用、保険料、関税など輸入側負担
- b) CIF：日本の輸入港までの輸送費用、保険料、関税など輸出側負担
- c) その他

※ エクセルのシートでは、選択式になっていますので、a)～c)までを選択してください。

(10) 外国平均価格について

当該製品の米、英、仏、独の実売価格（販売店への販売価格ではなく小売り単価）を調査の上、各国の通貨建てで記載してください。なお、当該部品について米、英、仏、独いずれの国においても販売が見受けられない場合に限り、「その他」の欄に国名・実売価格・通貨名をご記入下さい。

設問2、設問3

平成17年度～19年度の経常収益、経常費用についてご記入下さい。

最後にご回答いただいた方のご連絡先をご記入下さい。